

第 5 3 期 貸 借 対 照 表

(平成30年3月31日現在)

住化ロジスティクス株式会社

科 目	金 額	科 目	金 額
	千円		千円
【 資 産 の 部 】	【7,339,648】	【 負 債 の 部 】	【3,867,101】
(流 動 資 産)	(4,652,154)	(流 動 負 債)	(2,555,959)
現金及び預金	125,611	営業未払金	2,930
受取手形	35,249	リース債務	4,294
営業未収入金	2,039,334	設備関係未払金	77,294
貯蔵品	27,130	未払金	236,272
前払費用	62,483	未払費用	299,078
繰延税金資産	162,140	未払外注費用	1,318,025
預け金	2,070,000	未払法人税等	62,242
未収入金	114,245	未払消費税等	69,226
その他	15,963	前受金	26
		預り金	53,300
(固 定 資 産)	(2,687,494)	賞与引当金	433,271
有形固定資産	1,803,203		
建物	623,985	(固 定 負 債)	(1,311,143)
構築物	22,262	長期リース債務	1,789
機械装置	101,144	退職給付引当金	1,300,697
車両運搬具	309,175	長期預り金	8,657
工具器具備品	168,974		
土地	493,590	【 純 資 産 の 部 】	【3,472,546】
リース資産	5,794	[株 主 資 本]	[3,465,239]
建設仮勘定	78,279	(資 本 金)	(50,000)
無形固定資産	40,784	(資 本 剰 余 金)	(1,265,317)
ソフトウェア	31,069	その他資本剰余金	1,265,317
ソフトウェア仮勘定	9,273	(利 益 剰 余 金)	(2,149,922)
その他	442	利益準備金	12,500
投資その他の資産	843,507	その他利益剰余金	2,137,422
投資有価証券	76,572	別途積立金	900,000
関係会社株式	35,230	繰越利益剰余金	1,237,422
出資金	11,530	(うち当期純利益)	558,916
長期前払費用	7,512	[評 価 ・ 換 算 差 額 等]	[7,307]
繰延税金資産	439,022	(其 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金)	(7,307)
その他	273,640		
合 計	7,339,648	合 計	7,339,648

個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準および評価方法
 - (1) 有価証券の評価基準および評価方法
 - ①子会社株式および関連会社株式・・・原価法（移動平均法）
 - ②その他有価証券 時価のあるもの・・・期末日の市場価格等に基づく時価法
(評価差額は全部純資産直入法により処理している)
 - 時価のないもの・・・原価法（移動平均法）
 - (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法：最終仕入原価法
2. 固定資産の減価償却の方法
 - (1)有形固定資産・・・定額法（リース資産を除く）
 - (2)無形固定資産・・・定額法（リース資産を除く）
 - (3)リース資産
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産・・・リース期間を耐用年数とし、
残存価額を零とする定額法
3. 引当金の計上基準
 - (1)貸倒引当金
債権の貸倒損失に備えるため設定しており、一般債権については合理的に見積もった
貸倒率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収
不能見込額を計上している。
 - (2)賞与引当金
従業員の賞与の支払に備えるため、当期に負担する支払見込額を計上している。
 - (3)退職給付引当金
従業員の将来の退職給付に備えるため、年度末における退職給付債務および年金資産
の見込額に基づき、当期に発生していると認められる額を計上している。
4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項
 - (1)消費税等の処理の方法：税抜方式によっている。
 - (2)連結納税制度の適用：連結納税制度を適用している。

(その他の注記)

会社計算規則第98条第2項第1号に基づき、会計監査人設置会社で必要とされる注記事項の一部を省略している。

以上